

「きれいな横画の書き方を身につけよう」（書写）

北海道小樽市立緑小学校 三和史朗

■ 授業のねらい

導入段階でしっかりと基本を身につけさせる授業の2回目です。自由に書く活動とは違い、しっかりとした画についての基本を理解させます。始筆、送筆、終筆を理解して、縦画などにも応用できるという意識ももたせます。

■ デジタルコンテンツからの「子どもの学び」

今回用意したコンテンツは、始筆と終筆に明らかに違いのある三種類の動画です。それぞれを単独に再生し、違いを気づかせます。どれが良いかは子どもたちは、明らかに判断できます。ですが、他の二つはどこが良くないかを具体的に説明させてみましょう。そうした活動を、授業の始めに行うことで、子どもは明確に目標をイメージして、書くことができるようになります。

■ 教材作成のポイント

児童の陥りがちな典型的失敗例を教師が先に動画として用意します。失敗事例と比較して上手な横画は何が違うかを、はっきりと見いだせるように真上から撮影しました。

■ 授業の流れ

筆を置くところを始筆といい、筆を止めるところを終筆ということをしっかり教えます。横画の三つのビデオを見せ、どれが正しい始筆と送筆かを考えさせます。次に、良いものと、良くないものの違いを見つけさせます。良いものは始筆で、筆が斜めに入っていて、良くないものは真横だったりしていることを押さえます。

ここでスクリーンを効果的活用しましょう。始筆の明確な違いをしっかりと理解させるには、ただ見せるだけでは不十分です。投影しているスクリーンに、始筆の筆の角度の違いをはっきりと書き込むことで、筆を斜めに置いて書き始めることを理解させることができます。動画を使いながら、それを一時停止することで、静止画としても活用することができるのです。

